

岐阜高専「発足の地」碑の復元と「50周年記念」碑の除幕式開催

岐阜高専は、本年創立50周年を向かえることを記念し、若鮎会（同窓会）が中心となり、創立当時の仮校舎（現各務原市立鶴沼第一小学校）に、散逸していた「発足の地」碑の復元と、現キャンパス（本巣市）に「岐阜高専創立50周年記念碑」を建立し、同校創立記念日（4月22日（月））に除幕式を行った。

仮校舎での除幕式には、50名近い若鮎会会員・教職員が出席し、来賓の各務原市磯谷均（いそがいひとし）副市長、森基要（もりもとめ）名誉教授から祝辞があり、北田敏廣校長からお礼の挨拶の後、来賓・北田校長・若鮎会代表らによる除幕が行われた。

創立当時の教官であった森名誉教授からの、「教官も職員も少ない中で始まった高専教育であったが、当時の学生たちの頑張りが現在の岐阜高専の礎を築いた」との祝辞には、当時の教え子たちから盛んな拍手が送られた。

引き続き、会場を現キャンパスに移動し行われた除幕式には、80名近い若鮎会会員・教職員が出席し、北田校長による除幕式の挨拶が行われ、来賓の本巣市青木一也（あおきかずや）副市長、同校地域連携協力会を代表して柴田昌俊（しばたまさとし）西濃信用金庫常務理事から祝辞があった後、来賓・北田校長・若鮎会代表らによる除幕が行われた。



現キャンパスでの除幕式の様子